

【第 2 回】 尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会 計画策定部会 (要約メモ)

日時：令和 2 年 7 月 20 日 (月) 15 時～

場所：中央北生涯学習プラザ 3 階 音楽室

(対応等) = 意見反映等の方向性についての事務局 (案) を記載しています。

| 発言者 | 内容 |
|-----|---|
| 委員 | <p>基本理念で「地域において支え合い」の支え合いについて、支え合うのは誰なのかわからない。 →誰がという主語を入れたほうがよいと思うが、文章が長くなるので少し悩ましい。</p> <p>(対応等) 基本理念・リード文については前回での結論のとおり、当部会において継続的に意見交換等行ってまいります。(以下 同じ)</p> <p>「行政をはじめ」の「はじめ」は必要なのか。 →「はじめ」は削除する。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり修正しました。</p> <p>「市民が共通の目標を認識」とあるが、認識ではなく共有するというほうがよいのでは。 →そのように変更する。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり修正しました。</p> <p>「また、自らが・・・」の文章、改行して始まるので「高齢者」という主語を入れたほうがよいのでは。 →そのように変更する。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり修正しました。</p> |
| 委員 | <p>表紙のイラストを変更したほうがよい。今は大家族というイメージはない。 →変更する。また良いものがあれば提案いただきたい。</p> <p>(対応等) 引き続き、イラスト案を募集しています。</p> |

| 発言者 | 内容 |
|-----|---|
| 委員 | <p>地域にはたくさんつながりがあるというイメージが伝わるものだとよい（イラスト）。</p> |
| 委員 | <p>言葉の使い方で「支え合い・助け合い」と「支え合い」だけのものがある。意図はあるのか。</p> <p>→特に使い分けているわけではないので、整理する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>（対応等） 「支え合い・助け合い」となっていた箇所（リード文）は、国が「地域共生社会」の説明をしている文章に一部手を加えたものでしたので、国の説明文をそのまま引用するようにはどうかと考えます。（「助け合い」）</p> <p>基本理念は「支え合い」であり、両者の文言が異なるものになりますが、リード文で用いる「助け合い」は「地域共生社会」の説明として用いるのに対し、基本理念の「支え合い」は「総合計画」の「ありたいまち（人が育ち、互いに支えあうまち）」に基づくものとして、それぞれ使い分けを行ってはどうかと考えています。</p> </div> |
| 委員 | <p>基本理念を考えるにあたり、時代性・継続性・整合性・平易性があり、それがコンパクトな形での理念になればいい。また、理念が少し長いような気がする。理念が変われば、それに対する説明文等も変わるので検討を。</p> <p>→検討する。</p> |
| 委員 | <p>生活支援サポーターについて、養成や増えているが、現場に出していない現状がある。養成数を追うだけでなく、活躍できる場、そのような施策があればよい。</p> <p>→まず、養成者数を増やすことを目標としていた。地域に出していないという現状も把握しており、評価指標も含めて検討する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>（対応等） 上記事務局回答のとおり進めます。</p> </div> |
| 委員 | <p>評価シートについて、専門職向けというか、内容が難しいように感じる。もう少し補足があったほうがよい。</p> <p>→補足を入れるなど修正し、8期計画の資料編としてまとめていく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>（対応等） 「総合評価」の項目を追加し、視覚的にわかりやすくしてはどうかと考えています。</p> <p>また、「指標」の「方向性」の表記を、「目指す方向性」に変更しました。</p> </div> |

| 発言者 | 内容 |
|-----|--|
| 委員 | <p>評価シートについて、カッコレベルでサマリーというか、まとめがあったほうがよい。</p> <p>→庁内で一度検討したいと思います。</p> <p>(対応等) 同上</p> |
| 委員 | <p>「⑩ふれあいスポーツ推進事業」「⑫生涯スポーツ・レクリエーション事業（がんばりカード事業）」「⑬生涯スポーツ・サービスシステム事業（さわやか地域スポーツ活動）」など、何している事業か市民は理解していないのでは。壮年期や退職後の人を対象とした介護予防や健康づくりを考えてもよいのでは。</p> <p>→行政や民間がやっている事業等も含め、周知する。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p> |
| 委員 | <p>地域資源の情報は市民だけでなく、リハ職など、いろいろな人が活用できてよい。ICT化も含めて、多くの人が利用できるものだとともによい。</p> <p>→まだ、予算段階だが、今後進めていきたい。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p> |
| 委員 | <p>より一層元気になっていただきたい高齢者に具体的な提案ができるのではないかと思います。その辺は協働し、システムづくりをしていきたいと思っているので、よろしくをお願いします。</p> |
| 委員 | <p>生活支援サポーターについて、事業所による養成とあるが、これは委託になるのか。</p> <p>→委託である。</p> |
| 委員 | <p>試験的に何かされるということであれば、私の法人でも協力するので仰ってください。</p> |
| 委員 | <p>生活支援サポーターの養成については、ヘルパー協会として、現場での体験談や成功事例等、サポーターとして仕事に携わってみたいくなるようなお話をできる時間をカリキュラムに取り入れるような工夫について協力ができればと考えている。</p> |
| 委員 | <p>現場でみていると、地域福祉専門員と地域課の情報共有ができていいのか、早急にそのようなシステムを考えてほしい。</p> <p>→地域担当職員が配置され、連携を進めていく途中段階であると認識ください。専門員と地域課が協働しながらこれからますます地域づくりが進んでいくと期待しているところであり、しばらく見守ってください。</p> |

| 発言者 | 内容 |
|-----|--|
| 委員 | <p>助け合いの指標の「孤立感を感じている市民の割合」、ここだけが指標として下がっている。施策そのものがずれているのか、データの取り方に問題があるのか、見解が聞きたい。</p> <p>→データの見方については難しい部分がある。地域福祉計画でのアンケートでも孤立感を感じる市が一定いるというのが出ているため、地域福祉計画でもどう評価するのかも本計画と併せて検討したい。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p> |
| 委員 | <p>分析・評価については、私も協力させていただきます。</p> |
| 委員 | <p>助け合いについて、いろいろな有償ボランティアがあり、地域でもいい取組がある。高齢者本人も助け合いに参加できるんだというところをアピールしては。</p> <p>→地域活動は広がっていると思う。どうやって意識を変えていったらよいか、アイデアをいただきたい。</p> <p>(対応等) 引き続き、アイデアを募集しています。</p> |
| 委員 | <p>いろいろな事情があると思うが、老人福祉法に基づく養護老人ホームの位置というのは大きなものがあり、公助であることから何とか残すことはできないのか。意見として受け止めてもらえれば。</p> |
| 委員 | <p>「(6) 担い手づくりの推進」の方向で、介護人材不足の課題に対するアンケート調査を実施し、研究するとある。ぜひ進めてほしい。</p> <p>サ高住に関する評価があまりない。第8期ではサ高住に関する内容を入れる必要がある。評価も含めて検討してほしい。</p> <p>計画策定においては事業間のつながりも視野に入れて検討してほしい。</p> <p>(対応等) 介護人材のアンケート結果の研究について、進めてまいります。 サ高住に関する評価について、実態把握を行う中で進めてまいります。 計画策定にあたってはご意見を念頭に置きながら作業してまいります。</p> |
| 委員 | <p>アンケートについて、「最期にすごしたい場所」で1位が「自宅」で5～6割。一方で、施設を利用したい人は要介護3以上で25%。特養が166床未整備にある中、今後の施設整備について考えがあれば聞きたい。</p> <p>→サ高住や有料老人ホームも含めて考えなければいけない。給付分析も途中の段階。今後の高齢者の動向等も踏まえながら、検討していきたい。</p> <p>(対応等) 上記事務局回答のとおり進めます。</p> |

| 発言者 | 内容 |
|-----|---|
| 委員 | <p>アンケートで健康に対する意識は高いが、一方、健康づくりで何をしているかという、地域の活動に参加したくない、などの結果がある。そういう方々の意識の変容・行動変容を起こす、自らの健康は自らが管理することが一番の役割である。ということを強調することも必要かもしれない。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">(対応等) 本計画がそうした方に手に取ってもらい、意識変容等につながるようなものになるよう、冊子づくりの作業を進めてまいります。</p> |
| 委員 | <p>アンケート全体版の124ページ「健康や福祉に関する情報をどこから入手するか」という設問に対し、「病院、診療所」が未認定者で1位、要支援者で2位。情報の分野においても医療と介護の連携は非常に重要だと思うので、その視点も計画に入ればと思う。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">(対応等) 「情報の得やすさ、共有のしやすさ」は「施策の構築・推進にあたっての留意点」として特に留意するポイントに挙げています。このことを念頭に置きながら医療と介護の連携についても推進してまいります。</p> |

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の工程について

(令和2年度第3回 計画部会)

参考資料 2

| 第8期計画 | 第1回目 6月29日 | 第2回目 7月20日 | 分科会 8月18日 | 第3回目 8月24日 | | 第4回目 10月中旬 | 第5回目(仮) 10月下旬 | 分科会 10月下旬 | 分科会 1月中旬 | (参考) 第7期 (ページ) |
|--------------------------------------|---------------|---------------|--------------|---------------|----------|---------------|------------------|--------------|-------------|----------------------|
| 計画本編 | | | 進捗状況の報告等 | | | | | | | |
| 1 ページ目 表紙 | | | | | | | | | | |
| 基本理念 | ● | たたき台 | たたき台 | (修正) | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 29 |
| 基本理念の説明 | ● | たたき台 | たたき台 | (修正) | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 29 |
| 2～5 ページ目 高齢者の状況・2040年までの将来推計・計画の位置づけ | | | | | | | | | | |
| 高齢者人口・ひとり暮らし高齢者等(これまでの状況) | ● | | ● | ● | 資料3 | 素案 | | 素案 | 答申案 | 6～28 |
| 高齢者人口・ひとり暮らし高齢者等(推計) | ● | | ● | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | |
| 健康寿命・平均寿命 | ● | | ● | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | |
| 介護(予防)給付費 | | | | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | |
| 6 ページ目 計画の位置づけ等 | | | | | | | | | | |
| 計画の位置づけ(法的根拠) | | | | | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 1～4 |
| 計画の期間 | | | | | | 素案 | | 素案 | 答申案 | |
| 7 ページ目 施策の構築・推進にあたって | | | たたき台 | | | | | | | |
| | ● | たたき台 | | (修正) | | 素案 | | 素案 | 答申案 | (新) |
| 8 ページ目 展開方向・基本目標と取組の方向性 | | | ● | | | | | | | |
| 展開方向1 | ● | | ● | ● | 資料2 | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | 29～88 |
| 展開方向2 | ● | | ● | ● | | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | |
| 基本目標 1～7 | ● | | ● | ● | | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | |
| 取組の方向性(※イメージ(旧 重点取組事項)) | | ● | ● | ● | | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | |
| ・(介護予防・重度化防止への取組) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | 89～98 | |
| ・(認知症に対する取組) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | | |
| ・(医療・介護連携に関する取組) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | | |
| ・(高齢者支援の相談窓口における対応力強化の取組) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | | |
| ・(助け合い、支え合いへの取組) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | | |
| ・(担い手づくりの推進) | | ● | ● | ● | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | | |
| 9 ページ目 取組に係る指標 | | | | | | | | | | |
| ・取組の方向性に対する評価指標 | | | | ● | | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | 99～102 |
| 10 ページ目 介護給付サービスの見込み | | | ● | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 108～118 |
| 11 ページ目 施設サービスの整備目標 | | ● | | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | |
| 12 ページ目 市町村特別給付・保健福祉事業 | | | ● | | 資料3 | | | | | 120 |
| (実施する場合に記載) ※要検討 | | ● | | | | たたき台or素案 | (素案) | 素案 | 答申案 | |
| 13 ページ目 第8期計画における介護保険料 | | | | ● | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 127 |
| 14 ページ目 計画の進捗管理 | | | | | | | | | | |
| PDCAの方法について | | | | | | 素案 | | 素案 | 答申案 | 5 |

「●」
方向性の共有
等により意見
交換等を行う
段階

「たたき台」
たたき台をもと
に、意見交換
等を行う段階

「素案」
素案をもとに、
意見交換等
を行う段階

「答申案」
答申案をもとに、
意見交換等
を行う段階